

2005年度中間期 決算説明資料

2005年11月10日

川崎汽船株式会社

1. 2005年度中間期業績の概要

(単位: 億円)

		05F中間期 ①	04F中間期 ②	増減額 ③(①-②)	増減率 ③ / ②
売上高	連結	4,548	4,136	412	+10%
	単体	3,629	3,320	309	+9%
営業利益	連結	502	603	△101	△16%
	単体	351	483	△132	△27%
経常利益	連結	496	619	△123	△20%
	単体	359	500	△141	△28%
当期純利益	連結	349	335	+14	+4%
	単体	228	272	△44	△16%
配当	単体	9円	7.5円	+1.5円	+20%
為替レート	平均	¥109	¥109	¥高	- %
バンカー価格	平均	\$261	\$184	+\$77高	+42%

公表数値 ④	増減額 ⑤(①-④)	増減率 ⑤ / ④
4,500	+48	+1%
3,600	+29	+1%
500	+2	- %
370	△19	△5%
500	△4	△1%
370	△11	△3%
340	+9	+3%
230	△2	△1%
9円	-	- %
¥109	-	- %
\$255	+\$6	+2%

2. 2005年度中間期業績の要点

(経常利益: 前回公表500億円、前年同期619億円 今期496億円)

損益変動要因	対前回公表比	対前年同期比
為替変動	-	-
バンカー変動	4	104
市況変動	-	20
営業規模拡大	-	20
合理化・コスト削減	-	22
その他	-	41
合計	4	123

3. 部門別業績の概要（コンテナ船）

連結売上高：2228億円、連結経常利益：206億円

（前年同期比：増収、利益横ばい）

- 営業規模拡大
北米北西岸、東岸サービス増強が寄与
積高：133万TEU（前年同期比＋6.7%増）
- 運賃修復
東西航路、アジア・南北航路共、運賃率修復
- コスト削減効果（15億円）
- 収支悪化要因
傭船料高、燃料油価格高騰

4. 部門別業績の概要（不定期専用船）

（撤積船）

- 新造船竣工で営業規模拡大
 （稼動延トッ: 77.3百万トッ、前年同期比+6.2%増）
- 運賃市況下落により収益低下

バルク市況 (太平洋ラウンド)	2004年度	2005年度	
	上期実績	上期実績	公表前提
170型	\$54,494	\$38,398	\$65,000
74型	\$30,667	\$18,583	\$35,000
45型	\$22,975	\$17,200	\$25,000

5. 部門別業績の概要（不定期専用船）

（自動車船）

- 輸送量増加：三国間航路（大西洋、タイ出し豪州向け等）
- 収支悪化要因：燃料油高騰・用船料高、船舶経費増加

自動車輸送台数	04上期	05上期	増減
北米向け	30万台	29万台	-1万台
欧州向け	12万台	12万台	-1万台
その他往航	18万台	20万台	2万台
復航	8万台	7万台	-2万台
三国間他	58万台	64万台	6万台
合計	125万台	130万台	5万台

6. 部門別業績の概要（エネルギー資源輸送）

エネルギー資源輸送：前年同期比横ばい

- 液化ガス運搬船：各プロジェクト共順調に進捗
5月にラスガスⅡ向け新造船1隻竣工、合計27隻
- 電力炭：基本船隊15隻安定稼働、滞船緩和、効率配船
（積高671万トﾝ⇒697万トﾝ+3.8%増）
- 油槽船：AFRAMAX市況軟化
（稼働延トﾝ1431万トﾝ⇒1468万トﾝ+2.6%増）

油槽船市況(WS)	04年上期平均	05年上期平均	05F公表前提
VLCC(中東/日本)	111	78	70
AFRAMAX(南方/豪州)	178	138	200
クーンLRⅡ(中東/日本)	186	203	180

7. 2005年度通期業績予想

(単位: 億円)

		上期	第3Q	第4Q	下期	通期	第1Q発表時公表	増減率	2004年度通期実績	増減率
売上高	連結	4,548	2,360	2,342	4,702	9,250	9,000	2.8%	8,284	11.7%
	単体	3,629	1,880	1,841	3,721	7,350	7,100	3.5%	6,587	11.6%
営業利益	連結	502	190	218	408	910	1,050	-13.3%	1,081	-15.8%
	単体	351	135	154	289	640	770	-16.9%	853	-25.0%
経常利益	連結	496	185	229	414	910	1,050	-13.3%	1,072	-15.1%
	単体	359	140	151	291	650	780	-16.7%	869	-25.2%
当期純利益	連結	349	145	146	291	640	690	-7.2%	599	6.8%
	単体	228	110	92	202	430	480	-10.4%	490	-12.2%
配当	単体	9円	-円	9円	9円	18円	18円	-	16.5円	9.1%
為替レート	平均	¥109	¥110	¥110	¥110	¥110	¥110	-	¥107	2.8%
バンカー価格	平均	\$261	\$300	\$300	\$300	\$280	\$258	8.5%高	\$192	45.8%

【為替変動: 半期±6億円/1円、バンカー変動: 半期±1.3億円/1ドル】

8. 2005年度通期業績予想の要点

(経常利益: 前回公表1050億円、前期1072億円 今期910億円)

損益変動要因	対前回公表比	対前期比
為替変動	-	31
バンカー変動	54	243
市況変動	70	50
営業規模拡大	-	70
合理化・コスト削減	-	50
その他	16	20
合計	140	162

9.部門別予想のポイント

(コンテナ船)

荷動き：欧米向け、アジア域内とも堅調に推移

需給バランス：引き締まった状態継続

サービス改編：中東・地中海航路サービス増強

(不定期船)

市況前提 (太平洋ラウンド)	上期実績	下期予想	当初公表前提
170型	\$38,398	\$44,000	\$65,000
74型	\$18,583	\$22,000	\$35,000
45型	\$17,200	\$20,000	\$25,000

(油槽船)

油槽船市況 (WS)	05年上期平均	05年下期前提
VLCC (中東/日本)	78	70
AFRAMAX (南方/豪州)	138	200
クーン LR II (中東/日本)	203	200

10. 主要財務指標

	2004年度 通期実績	2005年度 上期実績	2005年度 通期見込
営業 C F (減価償却額)	894億円 (246億円)	325億円 (134億円)	720億円 (254億円)
投資 C F	△344億円	△588億円	△950億円
投資内訳	344億円	588億円	950億円
船舶関連	547億円	511億円	910億円
その他	189億円	122億円	190億円
資産処分(注)	△392億円	△45億円	△150億円
フリー C F	550億円	△263億円	△230億円
株主資本	1813億円	2246億円	2450億円
有利子負債残高	2392億円	2756億円	2750億円
R O E	39.6%	34%	30%
R O A	18.4%	15%	14%
株主資本比率	30%	32%	34%
D E R 比率	132%	123%	112%

ポイント:

営業CF: 業績下方修正により若干落ち込み

投資CF: 新造船の追加・前倒し発注による契約時払いの増加

結果として有利子負債増加。DERの改善度も鈍る。

総資産増加に伴い、ROAも低下。

11. 船隊整備の進捗状況

部門	05年3月末	05年9月末	06年3月末	09年3月末	左記、当初計画	増減額
コンテナ船	73	74	78	88	70	18
鉄鋼原料	73	67	76	80	74	6
一般不定期	62	54	60	81	75	6
自動車船	78	81	81	89	85	4
LNG	26	27	30	44	43	1
電力炭	14	15	15	19	21	-2
油槽船	19	20	20	31	38	-7
内航近海等	45	46	49	54	55	-1
合計	390	384	409	486	461	25

12. コスト削減運動

2005年度目標額: 50億円

(単位: 億円)

コストセーブ項目	上期	下期	通期
船費・傭船料削減	3	3	6
運航費削減	10	10	20
サービス改編・合理化効果	1	1	2
関係会社営業関連費用削減	3	9	12
一般管理費削減	1	1	2
機器費・空コン費削減	4	4	8
合計	22	28	50
(部門別内訳)			
コンテナ船事業部門(含む海外)	15	15	30
他事業部門(含む海外)	4	4	8
関係会社他	3	9	12